

令和2年度 学校評価書(最終評価)										※1段：R2最終 2段:R2中間 3段:(R1最終)				輪島市立東陽中学校			
重点目標	外部アンケート				自己評価				達成度状況の考察(○)と改善方法(●)								
	保護者アンケート	A+B	生徒アンケート	小数点第一位四捨五入	評価指標	達成度評価規準	中間評価	最終評価									
1	確かな学力の向上	学校は、学力向上に努力している。	96 96 (91)	各教科の授業内容はよくわかる。(全教科平均)	93 95 (92)	【努力指標】 「魅力ある授業」を目指して授業改善に努め、生徒が「主体的・対話的・深い学び」を実行できている。	◆授業アンケート(全教科平均) ◆生徒アンケート ◆保護者アンケート A：90％以上 B：75％以上 C：60％以上 D：60％未満	A	A	中間評価結果から ●個別に対応しながら、書けるような支援を考えていく。問い方、資料の内容、支援のタイミングを計るなどの工夫を行う。また、教科間の情報を共有し、組織的に対応していく。 ●説明する力は知識の定着に深く関わると考える。生徒自身が自信をもって表現できるように、「わかる授業」をさらに推進し、伝える内容の質の向上と授業の活性化を図る。 ↓ ○「授業がよくわかる」の肯定評価で、1年生の英語が影響して数値がやや減少。授業内容の難易度が上がっているためと考えられる。しかし、わからないことを質問する姿勢もついてきており、どの授業においても活気は出てきている。振り返りで学びの確認をしていることも学習意欲に影響を与えていると考えられる。 ○「自分の考えを書く」活動において、書けない生徒は固定している。考えをどのように書き表せばよいのかわからない様子である。話し合う活動により、自分の考えを深め、表現する力がついてきている。 ○「わかりやすい説明とは何か」の具体が理解できておらず、発表が一方向で終始する場合が多い。 ●これまで通り、個別で支援すると共に、教科間での情報を共有し、組織的に支援する。 ●教師による「問い返し・切り返し」の発問で、生徒から出た考えをクラス全体に広げ深めていく。リテリング(言い直し)などにより、相手の考えを理解して説明する力をつけ、伝え方や伝える内容の質の向上を図る。							
				課題について自分の考えを書いている。	89 93 (94)												
				自分の考えを授業で1回発言をしている。	96 93 (92)												
				先生の話や友達の意見をしっかり聞いている。	100 100 (*)												
				わからないことや疑問に思うことを聞いている。	97 93 (92)												
				自分の考えをわかりやすく説明できる。	70 82 (66)												
				話し合う活動を通じて、自分の考えが深まっている。	96 93 (89)												
子どもには、家庭学習の習慣がある。	73 70 (80)	毎日の課題や宿題を提出している。	82 89 (94)	【努力指標】 各学年の目標家庭学習時間を達成できた。	◆生徒アンケート ◆保護者アンケート A：90％以上 B：75％以上 C：60％以上 D：60％未満	B	B	中間評価結果から ●提出できない生徒へは個別対応でやり切ることを目指す。学習時間については課題の質や量を調整しながら達成できるように工夫する。 ↓ ○提出できない生徒は依然固定化したままである。学習時間の達成については休日の学習時間に課題がある。 ●提出できない生徒への対応について学校全体で方法・課題を見直す必要がある。									
		毎日、学年目標の家庭学習に取り組んでいる。学年目標の家庭学習に取り組んでいる。(1年60分 2年70分 3年90分)	93 93 (92)														
		子どもは、睡眠を7時間30分とっている。	74 85 (77)														
子どもは、朝食を食べている。	96 100 (91)	朝食を食べている。	96 96 (89)	【努力指標】 家庭と協力・連携して、より良い生活習慣が身につくように指導できた。	◆生徒アンケート ◆保護者アンケート A：90％以上 B：75％以上 C：60％以上 D：60％未満	B	B	中間評価結果から ●適切な睡眠時間は授業の集中力に大きく影響している。家庭とも連携しながらよりよい生活習慣の定着を学校全体で図っていく。 ●ネットを使用する際の「約束」を家庭でも学校でも再確認し、根気強く伝えていく。 ↓ ○睡眠時間が十分にとれていない生徒が微増。授業の集中力にも影響が見える。ゲームやネット利用も関係していると考えられる。 ●睡眠時間は授業の集中力に大きく影響している。家庭との連携を大切にし、学校等々で現状の理解と改善への協力を促す。 ●生徒会主催での集会を利用し、生徒たち自身でネットやゲームについて上手なつきあひ方について考えさせ、自律を求めていく。									
子どもは、決まりを守って生活している。	100 100 (94)	*	*														
保護者として、SNS・ゲーム・インターネットの家庭内のルールを作っている。	77 52 (71)	ゲーム・インターネット使用は長くしていない。(1時間程度)	33 44 (37)														
保護者として、輪島市ルール(9時以降はしない)や、家庭内ルールを守らせている。	62 41 (59)	9時以降、SNS・ゲーム・インターネットはしていない。	41 33 (43)														
2	主体的に行動できる生徒の育成	子どもは、喜んで学校に行っている。	86 93 (94)	学校は楽しい。	96 93 (91)	【努力指標】 部活動や生徒会・委員会活動や各種行事などを通して、充実した学校生活が出来るように指導できた。	◆生徒アンケート ◆保護者アンケート A：90％以上 B：75％以上 C：60％以上 D：60％未満	A	A	中間評価結果から ●活動がパターン化することなく、本来の趣旨や目的意識をもって活動できるように指導し、活動への参画意識をさらに高めていく。 ●取組を継続しながら、生徒指導の3機能(自己決定・自己肯定感・共感的人間関係)を生かし、自分の意見を自信をもって表現できるように支援していく。 ↓ ○「学校へ行くのが楽しい」と答える生徒は9割以上であるが、保護者との意識の差が大きくなっている。 ○自分の考えを伝える取組は定着してきている。集会でも感想や質問が出るようになってきた。 ●家庭での生徒の様子について保護者と情報を共有をしながら、生徒の小さな心の変化にも対応できるように配慮していく。また、委員会活動では参画意識が高まるように、活動の目的を明確にし、生徒とその目的を共有して行う。 ●「集会で自分の考えを伝えている」の項目で数値は十分とは言えないが、生徒の努力を認め、生徒指導の3機能を生かす支援は継続していく。							
		学校は、行事が充実するように努力している。	*	部活動で自分は鍛えられている。	93 89 (94)												
			100 100 (100)	委員会活動や学級活動で、企画・運営することは楽しい。	89 89 (89)												
		学校は、子どもの表現の場を大切にしている。	100 100 (100)	集会等で自分の考えを伝えている。	67 67 (54)												
				物事を最後までやりとげてうれしかったことがある。	93 93 (89)												
				難しいことにも、失敗を恐れなくて挑戦している。	85 74 (83)												
		子どもは、自分から挨拶ができる。	89 96 (97)	自分から挨拶ができる。	82 85 (97)						【努力指標】 挨拶やマナーなど、中学生らしくその場に応じた言動ができるよう日常的に指導を進めることができた。	◆生徒アンケート ◆保護者アンケート A：90％以上 B：75％以上 C：60％以上 D：60％未満	B	B	中間評価結果から ●教師間でも挨拶を求める姿勢にばらつきが見られた。生徒会で決めた「語先後礼」「気持ちのよい挨拶」を学校全体で求めていく。 ↓ ○生徒会が中心となって挨拶運動を行っている。一部の生徒の挨拶に元気がない。 ●生徒会を中心として、どんな挨拶が気持ちがよく、嬉しいかを根気強く広めていく。		
		子どもは、家の手伝いをしている。	65 59 (53)	家で手伝いをしている。	82 70 (66)												
		子どもは、将来の夢や希望をもっている。	58 70 (68)	将来の夢や希望を持っている。	74 74 (77)												
		学校は、生徒理解に務め、適切に対応している。	96 96 (97)	自分にはよいところがある。	74 70 (74)						【努力指標】 教育相談活動を充実させるなど、生徒の悩みや相談事を親身に受け止め、共感的人間関係づくりと自己有用感が高まるように生徒指導に努めることができた。	◆生徒アンケート ◆保護者アンケート A：90％以上 B：75％以上 C：60％以上 D：60％未満	B	B	中間評価結果から ●生徒が活躍できた場面や成長が見られた場面を確実に捉え、適切に言葉かけをすることで自己肯定感をあげていく。 ↓ ○「褒められ・認められている」と感じる数値が後退した。2年生の回答が影響しているが、2年生は学校生活においてはあらゆる面で頑張りが見られるようになってきている。 ●生徒自身が自分の努力が認められている、と感じられるように、今後も適切に言葉かけを行っていく。		
		保護者として、良いことについては褒めることを大切にしている。	100 96 (100)	褒められたり認められたりする時がある。	79 85 (77)												
		保護者として、悪いことについては、叱ることを大切にしている。	100 96 (100)														
3	保護者・地域との絆	学校は、生徒のことで相談しやすい雰囲気である。	92 100 (100)	*		【努力指標】 学校だけでなくや各種お便り等を充実させ、学校から積極的に情報発信することができた。	◆保護者アンケート A：90％以上 B：85％以上 C：80％以上 D：80％未満	A	A	○年間を通して、保護者や地域の方々から大きな支援をいただいている。職員だけではなく、生徒もそのこと大変感謝している。それが当たり前のように、地域の方々の思いに応えられるように、職員一丸となって生徒の育成に努力していく。							
		学校は、通信等で方針や生徒の様子をわかりやすく知らせている。	100 100 (100)	*													
		保護者として、学校からの通信に目を通して	100 96 (97)	*													
		保護者として、行事があるときは都合をつけて参加しようとしている。	96 85 (94)	*													
		*		東陽中学校の生徒であることに誇りを感じる。	96 96 (94)						【努力指標】 生徒に対し、ふるさとや地域に目を向けさせ郷土愛を深めることができた。	◆生徒アンケート A：90％以上 B：85％以上 C：80％以上 D：80％未満	A	A	中間評価結果から ●生徒の学校や地域への思いは高く安定している。地域を守り・活性化に尽力する人材を活用しながら、キャリア教育を推進する。 ↓ ○コロナ禍で不便があった中で、地域の方々から温かい支援を受け、生徒全員が地域との深い絆を感じている。 ●地域から受けた支援にどう応えていくか、キャリア教育と連動させ、生徒自身が地域の貴重な一員であることの自覚を促していく。		
		*		地域の人たちは、やさしく、深い絆を感じる。	100 96 (94)												
		*		将来地元に戻って働き、生活したいと思う。	56 59 (54)												